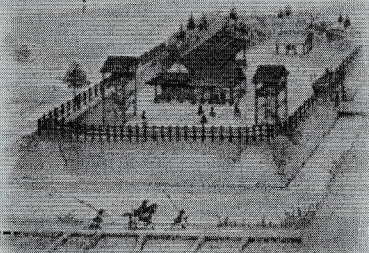


# 富松城と中世の尼崎

参加費  
無料

富松町2丁目の富松城跡に現存する土塁と堀跡は今からおよそ500年前の戦国時代の城館の遺構で、当時の西摂の戦乱の様相を今に伝える貴重な歴史遺産です。天守や石垣が登場する以前の城である富松城はどのような城だったのか。関連する歴史資料などによる最新の調査研究の成果を手がかりに、その姿を探ります。



**日時** 令和4年12月10日(土) 10時から

**会場** 立花南生涯学習プラザ 3階ホール  
(栗山町2丁目25-28)

**定員** 先着 100人

※ 小学生は保護者同伴

**申込み** 立花地域課へ電話またはFAXで申し込みください。  
電話:06-6427-7770 FAX:06-6427-7773  
申込締切:12月8日(木)午後5時まで

**講師** 尼崎市立歴史博物館 楞野 一裕 学芸員



【プロフィール】

関西大学大学院文学研究科(日本史学専修)博士前期課程修了  
1989年4月に尼崎市教育委員会に学芸員として着任

2020年4月から尼崎市立歴史博物館学芸員

専門分野は日本中世史、主な研究テーマは中世後期の武家政権の展開、室町から戦国期の摂津の地域史

富松城広報大使(自称)

コロナ感染症に配慮し開催いたします。マスク着用、手指消毒のご協力をお願いいたします。また、コロナ感染症の状況等により中止する場合がございます、ご了承のうえ申してください。

共催 富松城跡を活かすまちづくり委員会  
尼崎北小学校学校地域連協働携本部  
尼崎市立花地域振興センター立花地域課

